

議 員 全 員 協 議 会

|      |                                                          |                             |
|------|----------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 日 時  | 令和 3 年 4 月 19 日（月） 閉会中                                   | 9 時 38 分 開会<br>10 時 51 分 閉会 |
| 場 所  | 相良庁舎 4 階 大会議室                                            |                             |
| 出席議員 | 議長 16 番 中野康子 副議長 15 番 大井俊彦                               |                             |
|      | 1 番 鈴木長馬                                                 | 2 番 濱崎一輝 3 番 原口康之           |
|      | 4 番 吉田富士雄                                                | 5 番 平口朋彦 6 番 藤野 守           |
|      | 8 番 植田博巳                                                 | 9 番 村田博英 10 番 良知義廣          |
|      | 11 番 澤田隆弘                                                | 12 番 鈴木千津子 13 番 太田佳晴        |
|      | 14 番 大石和央                                                |                             |
|      |                                                          |                             |
| 欠席議員 | 7 番 名波喜久                                                 |                             |
| 傍聴議員 |                                                          |                             |
| 事務局  | 局長 原口 亨 次長 本杉裕之<br>書記 大塚康裕 書記 森田さおり                      |                             |
| 説明員  | 市長、副市長、教育長、建設理事、総務部長、企画政策部長、<br>政策監、健康推進部長、産業経済部長、商工観光課長 |                             |

署名 議長

## 開会の宣告

### ○議長（中野康子君）

皆様、臨時議会の後でお疲れでございますけれども、ただいまより議員全員協議会を始めさせていただきます。

---

## 2 市長報告

### ○議長（中野康子君）

まず、市長報告でございますけれども、市長の報告が終わりましてから一括でお願いをいたします。

それでは、市長報告をお願いいたします。

市長。

### ○市長（杉本基久雄君）

改めましておはようございます。それでは、私のほうから何点か報告をさせていただきます。

まず、4月17日、土曜日でございますが、開催させていただきました図書交流館いこっとの開館式につきましては、ご列席をいただきましてありがとうございます。この日は、1,149名の方に来館をいただきまして、図書カードの登録につきましても123人、3月からの登録者の総数は1,124名となっております。本をツールとした全ての世代の市民の皆さんの交流の場、憩いの場となるよう、運営充実を図ってまいりたいと考えております。

昨日も1,200名を超える方が来られた。また、初日の貸出図書数は700冊ということで、これまで1日当たり数十冊というのが最高であったということから、かなりの本を借りていただいているということが分かってまいりました。

それでは次に、茶況についてであります。例年実施しております茶工場等の激励訪問でございますが、4月12日の月曜日から開始をしております。私と副市長、産業経済部長、JAハイナン常務らの4班体制で、茶工場144工場、茶商25の事業所を訪問いたしまして、関係者から直に課題等、情報交換をしているところでございます。

市内の茶況につきましては、2月から3月中旬にかけて、気温が高めに推移をし、3月下旬にまとまった降雨があったことから、例年より早い4月9日には早生品種を中心に摘採が開催をされまして、順次、摘採を開始する工場が増加しております。

流通の状況といたしましては、昨年度に実施をした国の茶販売促進緊急対策事業等の効果もございまして、茶商の在庫量はやや少ない、あるいは適正という状況でございますが、新型コロナウイルスはまだ終息の兆しが見えないことから、消費が不透明となり、昨年同様、選択買いや小口買いが続くことが予想されます。

一方で、巣籠もり需要によりまずリーフ茶の需要が増加しているという明るいニュースもございますので、緑茶の効果・効能など、お茶の健康パワーをさらにPRして、消費の拡大に取り組んでいきたいと考えております。

それから、市役所では、新茶シーズンに合わせまして、牧之原茶のイメージ向上、消費拡大のために市役所両庁舎におきまして、来庁者に新茶サービスを行います。昨年度はコロナの緊急事態宣言発令中というようなこともございまして実施ができませんでしたが、今年は5月6日の木曜日から7日、そして休み明けの10日の3日間、午前10時から3時まで榛原庁舎2階のロビーと相良庁舎1階のロビーで行います。今年度の新規採用職員と採用2年目の職員が呈茶をいたしますので、またぜひともお立ち寄りいただければありがたいと思います。

次に、新型コロナウイルス感染症対応の経済対策でございますが、プレミアム商品券についてでございます。

市内の経済施策として、商工会と連携し、実施をいたします。地域応援プレミアム商品券（春）を5月下旬から販売するよう準備を進めています。

この事業は、1万円で1万2,000円分の商品券を販売するもので、1万セットの販売を予定しており、利用総額は1億2,000万円で2,000万円のプレミアム分を市が補助するというものでございます。

利用期間は、販売日から9月末までといたしまして、現在、取扱店の募集を行っているところであります。

購入できるセット数や販売の窓口等、詳細につきましては商工会と調整中でございますので、決定次第ホームページ等でお知らせをまいります。

このプレミアム商品券事業につきましては、秋にも実施を予定しているところでございます。

次に、リニア中央新幹線についてでございますが、資料1をまた後ほどご覧いただければと思います。

先月の全員協議会で報告をいたしましたリニア中央新幹線建設における大井川流域8市2町首長から、JR東海金子社長へ宛てた要望書につきまして、新聞報道等にもございましたとおり、先週の4月15日、木曜日、JRから回答、資料3がございました。

3月20日の土曜日の要望書の提出の際、代理受領した宇野副社長からは要望を遵守する旨の具体的なコメントがなく、私の不誠実に感じたとのコメントが報道されましたけれども、本回答書では着工には流域住民の理解と協力が前提であることをJRが自ら書面で示したものであり、水資源や自然環境の確保、分かりやすいデータの提示等、要望項目について、いずれも重要でもっともな意見であるということが記されておりまして、回答の内容は流域10市町の要望を受け入れるものであったというふうに捉えております。

また、国の有識者会議の進捗を踏まえた適正な段階でJRから流域市町への説明の機会を設けたい旨が記されておりますが、国有識者会議の結論につきましては、県専門部会で改めて整理をされる予定でございまして、その進捗等も踏まえて10市の首長との協議を重ねて検討していきたい

いと考えております。

そして先週末、17日の土曜日でございますが、国の第11回の有識者会議が行われました。河川流量の予測に平年値を上回る降水量があった取水制限が行われなかった2012年のデータを使っていたり、突発湧水量の想定に青函トンネルのモデルを使っているなど、予測の正確性や南アルプスの状況を正しく理解できるものであるかというところに疑念が残ったというふうに思っております。

生態系の議論、そして県の専門家会議での議論等も含めまして、J Rの流城市町への説明、さらに流域の理解と協力などについては、今後、相当な時間がかかるものと考えております。

次に、海水浴場の開設についてでございます。

海水浴場の開設につきましては、去年はコロナウイルスの影響によりまして、苦渋の決断として市内海水浴場の開設を中止したところでございます。この海水浴場開設の中止は、観光業を初め、市内経済に与えた影響は大きく、特に宿泊事業者には大きな打撃となりました。コロナの影響は続いておりますが、これからの社会はコロナと共存していくウィズコロナであります。ということから、今年はコロナ対策をしっかりとった上で海水浴場を開設したいと考えております。

現在、関係者と協議を行いながら、感染防止対策や行動基準などを設けての海水浴場の開設に向けまして、ガイドラインの作成を進めているところでございます。

最終的な判断につきましては、近く開催を予定しております海水浴場運営委員会で関係者の意見や感染状況を踏まえながら決定してまいりたいと思っております。

それから、県の県内観光促進対策の拡充についてでございますが、県では、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ県内観光産業の回復を図るため、新たに創設をされました国の助成制度を活用しまして、観光促進策を実施いたします。16日には県議会のほうで補正予算69億8,400万円が可決をされております。

これは現在、県民を対象に実施している県内宿泊旅行「バイ・シズオカ〜今こそ！しずおか！！元気旅!!!〜」の規模を拡大するとともに、新たに県内の日帰り旅行に対する支援を行うものでございまして、旅行費用の2分の1以内で、1人1泊5,000円上限の支援や土産物店等で利用できる地域クーポンの配布が予定をされています。

開始時期はゴールデンウィーク頃としていますが、県内の感染状況等を踏まえて判断し、公表される予定でございます。

また、今年度に市が予定しておりますR I D E O N M A K I N O H A R A誘客キャンペーンにつきましては、宿泊事業者と協議をして、実施時期や支援内容を決めていきたいと考えておりますので、詳細が決定いたしましたら報告をさせていただきたいと思っております。

最後になりますが、静波・鹿島ビーチクリーン「花咲か爺さんプロジェクト」ということでございますが、これは15キロの海岸線をもつ牧之原市でございますが、海岸に漂着するごみも多く、これは地元のサーファーが毎月、ボランティアで清掃活動を行っていただいています。

5月2日の日曜日でございますが、静波・鹿島のビーチクリーンが行われるわけでありましたが、

この清掃活動の後、海洋ごみの現状を伝える活動をされております花咲か爺さんプロジェクトというのがあるんですが、このプロジェクトについては、熱分解によるごみ処理装置の紹介、そして静波海岸の海洋ごみの現状と今後の清掃活動への取組について報告が行われます。

この花咲か爺さんプロジェクトにつきましては、県内外で自治体と連携した活動をしておりまして、今回、持ち込まれますごみ処理装置は、焼却処理装置ではなくて、磁力流による低温熱分解処理装置のため、排ガスを抑えた処理方法として地球環境の保護に貢献するというふうに期待がされているところでございます。

今後、牧之原市で毎月行われますビーチクリーン活動に継続して参加いただけるということでありますので、地球環境に配慮した活動の一歩となると考えております。

この日は、私と議長がぜひ見てほしいということで、ご招待いただいておりますので、参加をさせていただく、正副議長さんに出席依頼もございまして、出席をさせていただく予定でございます。

私からは以上でございます。

#### ○議長（中野康子君）

市長報告が終わりました。ご質問のある方は挙手をお願いいたします。

濱崎議員。

#### ○2番（濱崎一輝君）

私のほうから、プレミアム商品券の件をちょっと確認したいんですけども、現在、この販売方法につきましては、商工会等との調整ということだったんですけども、前回のプレミアム商品券のときと同じような形で販売方法を考えているのか。というのは、1回で買える個数というんですか、冊数というんでしょうか、それが、例えば1世帯5セットとか3セットとやってしまうと、買占めが起こってしまうのではないかなと懸念されます。

というのは、これに関連しますけれども、前回の食事券、これがちょっと市民の方からクレーム的にいただいた声なんですけれども、9時に榛原のさざんかのほうに行ったら、商品券がもう売切だったということで、当日、LINEとかT e aメールで配信されたということなんですけれども、その方の場合はガラケーで、登録も何も全くしていないということで、チラシだけで、それで来た。多くのお年寄りの方が行ったのに買えなかったということで、これどうなっているんだということを、ちょっと声を聞いているんですけども、例えば、1世帯5セットとしても、1回で買える枚数を、例えば1セットとか2セットとかという形で制限をしないと、ある一定の方が全部買占めをするということが起こってしまう。これだと何のためにやっているか分からなくなってしまうので、これについてちょっと検討していただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

#### ○議長（中野康子君）

産業経済部長。

#### ○産業経済部長（田形正典君）

プレミアム商品券の販売についてでございますけれども、議員がおっしゃるとおり、前回、この間の食事券については、2,000セット用意しまして、それぞれ相良地区、榛原地区で1,000セットずつという数だったものですから、本当に買いにいらっしゃった皆さんで並んでいただいたんですけれども買えなかったという方がいらっしやいまして、大変申し訳なかったなと思います。

そういったこともありますので、今回の商品券につきましては、もう少し制限をいたしまして、現在、考えておるのは、商工会等とこれは話をしておりますけれども、1人2セットまでということで、最大でも1世帯6セットまでということで考えております。

前回、昨年度になりますけれども、同じ商品券事業を行いました。このときも特別販売ということで、このときは1人3セットで1世帯9セットまでということでした。当日は、これが約1万セット売れましたので、恐らく同じでいくと売り切れちゃうだろうということで、少し制限をしまして、今回については1人2セットで、1世帯最大6セットということで今現状考えております。

**○議長（中野康子君）**

濱崎議員。

**○2番（濱崎一輝君）**

ぜひ1回の買える制限というのをやっぱりしていかないと買えない人が出てくるものですから、ただこれプレミアム商品券だと結構金額が張るものですから、前回の食事券のときのようなことはないかと思うんですけれども、もしこれ仮に今後また食事券的なものをやる場合、特に金額が安いものですから、買いたいという人、結構いらっしやるんですね。そういったものを踏まえて、臨機応変にという形で、隣の吉田町辺りだと1回に買える枚数というの、1回、1人2セットまでとかと決まっていて、さらにまた並んでいる人の場合は、欲しかったらまた後ろに並び直すなんていうことで、公平性を保っているということを聞いているものですから、ぜひそういったことを考慮していただいて、お願いしたいと思います。

**○議長（中野康子君）**

産業経済部長。

**○産業経済部長（田形正典君）**

議員のおっしゃるとおり、公平性というか、多くの人に行き渡るような形で制限を設けていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

**○議長（中野康子君）**

ほかに。

平口議員。

**○5番（平口朋彦君）**

2点、お聞きします。

まず1点目、花咲か爺さんプロジェクトのところなんですけど、これは市長からの口頭でのお話を聞いていたら何となく理解したような気がするんですけど、これを読むと、地元サーファー

が毎月ボランティアで清掃活動を行ってくれているというふうにあって、その続きの説明があるので、ちょっと混同しちゃうんですけど、花咲か爺さんプロジェクトは地元サーファーとは全く関係ない話ですよ。それは県内なのか県外なのか分からないんですけど、どこかの団体があって、たまたま今度のビーチクリーンからこういったことでその団体が参加するということで、サーファーとは関係ない話かどうかというのを確認させてください。まずそれが1点。

あともう一つ、やはりリニアの関係なんですけれども、先ほど説明がありましたように、先週末の第11回の結果ですね、結果というか、そこでの報道もありました。明らかに意図的にミスリードを誘っているかのような、2012年のデータについて、報道の記者からでしょうか、もっと取水制限があった年のやつを使うべきではないかという投げかけに対して、難色を示したというふうに報道にありました。非常にゆゆしき、不誠実な対応だとは思いますが。これを踏まえて、市長からは疑念が残るということでありましたけれども、リアクション、8市2町で恐らく足並みをそろえてまた対応されると思うんですけれども、リアクションについてはどう考えているのか。

ちょっと日がないので、まだ相互の連絡は取れていないと思うんですけれども、現時点での市長のお考えをお聞かせください。2点です。

**○議長（中野康子君）**

産業経済部長。

**○産業経済部長（田形正典君）**

先に花咲か爺さんプロジェクトについて、説明をさせていただきます。

これは毎月1回、第一日曜日にサーファーの方が海岸清掃をしてくださるということで、そこに参加している方が花咲か爺さんプロジェクトということを企画しておりまして、県内だとか三重県で活動されているということです。この花咲か爺さんプロジェクトというのは、海岸に漂着する海洋ごみですね、その種類が海岸によっていろいろ異なるんだということで、この海岸にはこういったごみが打ち上げられますよ、そういったことを通して、地球環境を知ってもらおうと。海岸のごみを知ってもらおうということです。

これは、ここは熱処理と書いてありますけれども、海岸についた海洋ごみを熱処理によって、セラミックの灰にするということで、燃やさずに処理をするということで、環境にも優しいということです。これを、この機械、装置があるんですけれども、その装置をこの方が導入して、静波海岸の清掃のときに使用していただけると。その活動を継続して行っていただくと、そういったものになっております。

**○議長（中野康子君）**

市長。

**○市長（杉本基久雄君）**

花咲か爺さんプロジェクトについては、今、部長がおっしゃったとおりであります。これは西脇さんという方なんです。カツミ工業さんという会社で、今、部長がおっしゃったように、サーフィンをやられている方で、ごみの、いわゆるごみ拾い等も参加している中で、これを燃す

というのは非常に環境によくない、あるいは潮がついてると炉を傷めるというようなことで厄介なんですね。それを、今言ったような形で、燃さずに熱処理で、セラミックにするというような、私はまだ見たことないんですが、そういった活動をされているということで、ぜひ見てほしいということでしたので、出席をさせていただけるわけですが、もし議会の皆さんもお時間ございましたら、5月2日の10時から静波海岸にトラックに載せてその機械を持ってくるということでもありますので、それを処理するには相当な時間がかかるものですから、こういう機械で処理するんですよというのか、あるいはそれで作ったセラミックはこういうものができますよとか、あるいはそういう機械を入れるためには破碎機が欲しいんですよとかという破碎機を見せていただいたり、そんなことの実演をやっていただけるということでもありますので、失礼、静波海岸ではなくてライフセービングハウス、あそこのグラウンドゴルフ場があるところですね、そちらでお願いをいたします。

それから、第11回のリニアの有識者会議であります、私もまだ詳細な有識者会議の資料をまだいただいていませんので、その中で、記者とのやり取りの中でこういったことが出たということでもありますので、私としてもこの10年で6年かな、取水制限があったにもかかわらず、その年度に関係ないところで、この検討するというのは本当に不誠実だなというふうに思っております。ということからも、県もそこはしっかりと難波副知事も異議を申ししておりましたので、8市2町の首長としても何らかのリアクションをする形で考えていますので、今後、8市2町の首長と話を、協議をさせていただきたいというふうに思っております。

**○議長（中野康子君）**

平口議員。

**○5番（平口朋彦君）**

分かりました。花咲か爺さんについて、これ、こううたっちゃっていいのかどうか分からないんですけども、花咲か爺さんプロジェクトは牧之原市発という、牧之原市から発信ということでいいんですかね。発って発射の発、初めてじゃなくて。できればすばらしいプロジェクトなので、15キロの海岸線を持った牧之原市からこういうふうに全国にというふうなイメージなのかどうか。ちょっとそこだけ。

**○議長（中野康子君）**

商工観光課長。

**○商工観光課長（福代英正君）**

この花咲か爺さんプロジェクトにつきましては、牧之原市発ではないです。いろいろなところでやられていて、今回、初めて牧之原市でやるというようなイメージでいただければと思います。以上です。

**○市長（杉本基久雄君）**

県内では牧之原市が初ということでございます。

**○議長（中野康子君）**

そのほかに。よろしいでしょうか。

鈴木長馬議員。

**○1番（鈴木長馬君）**

いよいよ新茶のシーズンが始まりまして、ここにお茶の健康パワーをさらにPRしてとありますけれども、具体的にどのようなことをPRするというので、ありましたら教えていただきたいと思います。

**○議長（中野康子君）**

産業経済部長。

**○産業経済部長（田形正典君）**

県等で今、お茶の効能というのが研究されていると、考えられているということなんですけれども、そういったものをほかの研究成果もあると思いますので、こういったものをできるだけ活用していきたいと思うんですけれども、なかなかそれについてはエビデンスというか、そういったものがしっかりそろっていないといけないということがありますので、そういったものの情報を得て、なるべく市のお茶のPRにつながるような効果的な方法というのが、具体的なものはあれですけれども、地道な広報をしながら取り組んでいきたいというふうに思います。

**○議長（中野康子君）**

そのほかによろしいですか。

太田議員。

**○13番（太田佳晴君）**

今、鈴木議員のお茶の関連なんですけれども、前々からお願いしている部分なんですけれども、やはり牧之原市だけでこういったことをPRしていくよりも、お茶に関する周辺、また県内の市町で連携してやっていったほうが、特にコロナという共通の大きなやはり問題点を抱えているものですから、いいかと思うんですけれども、そういった市独自でなくて、周辺との連携というのは今、行っているのか、またどのように考えているのか、お願いします。

**○議長（中野康子君）**

産業経済部長。

**○産業経済部長（田形正典君）**

現在、事務的なこういったPR組織というのはないんですけれども、議員がおっしゃるように、個々のお茶のよさというのはあるんですけれども、全体的なお茶の効能というか、そういったものを広域というか、集団でやっていくというのは効果があると思いますので、その辺も併せて近隣の産地の自治体と協力していきたいと思いますので、これから少し声がけをしながら、協力を求めていくというか、そういったことをしていきたいというふうに思います。

**○議長（中野康子君）**

市長。

**○市長（杉本基久雄君）**

私もそういった効能とか、科学的なこととか、どんなカテキンが云々というようなことも、コロナに効く効かないというのはあるんですが、これは昨年、県議会で一般質問がされていまして、知事からは、しっかりそこは学術的な検証をして、アメリカの情報誌といいますか、論文を発表するというようなことが言われておりました。だもんですから、我々のほうからも県に、この一番茶に間に合わなければしょうがないというようなことで、どうなんだというので、何回も問合せをしているわけですが、今のところまだ、いわゆる学術的な部分において、いろんな検証をなくてはならない。まだその確がまだ、なかなかその結果が出ていないというようなことでございまして、実際、奈良県立大学とかで試験管の中での結果としては、99%ですか、ウイルスが死ぬというようなことは言われていますので、あとはこれを飲んでどういうふうにというところなんです、この辺がまだもう少し待って下さいというような状況でありますので、先日も京都大学でしたか、と静岡大学の山田教授がディスカッションをして、そうした効果があるということについては事実だというようなことでおっしゃっておりますし、週刊誌等でもそういったことが発表されています。ですので、私、茶商さんとか小売店等を回らせていただいたんですが、その週刊誌のコピーですね、それを店頭に出して販売戦略に使っているというような店舗もございましたので、今後もそういった確たるものが早く欲しいということで、県には要望させてもらいますし、そういった形で茶どころ静岡として連携を組んでいきたいというふうに思っております。

**○議長（中野康子君）**

太田議員。

**○13番（太田佳晴君）**

今、市長が言われたとおり、これは牧之原市だけの問題じゃなくて、茶産地、特に九州と扱いで非常に競ってはおりますけれども、やはりこれは一つの共通の問題点として全国的に、政治的なまた力も使いながら、ぜひとも茶価の、少しでもよくなっていくように、また市長からも知事、また全国に呼びかけるようにお願いしたいと思います。

以上です。

**○議長（中野康子君）**

そのほかに質問ありませんでしょうか。

濱崎議員。

**○2番（濱崎一輝君）**

それこそ、先ほどの臨時会の中でコロナワクチン予防接種の件で、同僚議員からLINEでの予約の件、質問がありましたけれども、私のほうも、それに関連するんですけれども、コールセンターの体制についてちょっと確認したいんですね。

というのは、県内でも4月16日に湖西市が先行して予約をやっているということで、そこで新聞報道も載っていましたがけれども、ネットで約9割、電話で1割ということですが、その電話が全くつながらないということで、100件以上のクレームがあったということ、これが新聞に載っていました。

これで電話が3台しか用意されていなかったということだったんですけれども、その1人の方に、例えば、電話でやっぱりお年寄りの方なので、時間が結構取られると思うんですよ。そこでやっていると、あっという間にネットで予約が埋まってしまうということが起きているので、これに関して、どのように、例えば電話の台数を何台用意するのか、実際に効率よく話が進めるような形で、その訓練というか、トレーニングというか、ロールプレイング的なこともやっているのかどうなのか、その辺ちょっと確認させてください。

**○議長（中野康子君）**

健康推進部長。

**○健康推進部長（鈴木郁美君）**

ただいまの予約に関してのご質問なんですけれども、5月3日のゴールデンウィークの、まだ中なんですけれども、予約を開始したいということで、今、準備をしております。

電話の台数は、牧之原市専用のものが3台でしています。ネットの予約は、5月3日は8時15分から開始で、その後は24時間対応ということになります。

7月18日までの間に1回目を受けていただきたいということで、皆さんが受けていただく予約の枠は十分に用意されていますので、慌てずに、初日はちょっと混むかもしれませんが、時間ですとか、日にちを少し改めて予約をしていただければつながると思いますので、一応、そういった内容の案内を含めたチラシを高齢者の皆さんのところに送るということで、今、準備をしているところでございます。

**○議長（中野康子君）**

濱崎議員。

**○2番（濱崎一輝君）**

電話が専用のものが3台ということなんですけれども、多くの方はLINEでということで、多分牧之原市はそうだと思うんですけれども、一部ではネット関係が使えない人もいるので、そのところで、多分、クレームが来る可能性が高いので、そこに関しては事前にしっかりと対応を打っていく必要があると思うし、やっぱり初日は絶対混み合うと思います。それが分かっているんだったら、例えば、電話の台数を増やすということも少し考えたほうがいいのかなと思います。

**○議長（中野康子君）**

健康推進部長。

**○健康推進部長（鈴木郁美君）**

外部にちょっと委託をしているということもございますので、吉田町とも共同でこういった予約システムをつくっているということもありますので、また、委託業者と少し協議をしまして、台数が増やせるのかどうかということもちょっと検討はしたいと思います。

多分、初日とか数日は混み合うかなということは予測しながらも、皆さんに落ち着いて予約をしていただきたいなとは思っております。

**○議長（中野康子君）**

濱崎議員。

**○2番（濱崎一輝君）**

予約の期間、ずっと台数を増やす必要はないと思うんですけども、初日に関しては5台にするとか、そういった形に臨機応変にぜひ対応していただきたいと思います。

**○議長（中野康子君）**

そのほかによろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

**○議長（中野康子君）**

それでは、以上で市長報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

先ほどのウイルスの関係ですけど、4月号に高齢者に向けてかなりウイルスの関係、接種の関係が載っております。ぜひそれを見ていただくように市民の皆様にお伝えしていただきたいという推進部長のほうからお話もございましたので、青い紙が行くそうです。青い紙が申込書になるそうですので、その辺をよろしくお願いします。

---

**3 議長・関係議員・委員会報告 （1） 会議等の結果**

**○議長（中野康子君）**

それでは、議長・関係議員の委員会報告に移ります。

まず、私のほうから報告をさせていただきます。

3月23日、市立図書館の交流館、いこっと内覧会。皆様、ご苦労さまでした。都会的な雰囲気、図書館で本当に期待が持てるなというふうに思いました。

それから3月29日、牧之原消防署大型水槽車の展示訓練がありました。牧之原消防署にて、水のないところでの消火活動ができるということで、10トンですかね、お水の量が。今までですと1.5トンが通常ですけども、10トンということです。それで、このお水は飲むことができるということで、市長もコップで飲んでおりましたけれども、そういった災害にも活用できるということでございますので。

それから、3月30日、全議員の視察研修で山梨県笛吹市のほうへ皆様、お疲れさまでございました。報告書の提出日が本日まででございますので、よろしくお願いをいたします。

4月1日、教職員の着任式がありました。学校組合議長の太田さんと私で出させていただきますました。

4月2日、デマンド乗合バス、まきのはら号の出発式がコミュニティセンター前で行われまして、登録者数が92名ということで、牧之原市の中では一番多いということを知りました。

4月4日、市の消防団の辞令交付式が相良中学校の体育館でありまして、36名が新しく入隊してくださいまして、女性消防隊の方も新しく12名ですか、入隊してござっております。

それから4月5日、株式会社Charaoh、ティーパック、荒茶加工施設の竣工式がありました。ティーパック専用の荒茶を加工する施設でございます。

4月7日、春の交通安全運動巡回広報がありまして、皆様、街頭に立っていただきまして、ありがとうございました。

4月16日、御前崎港開港50周年記念事業実行委員会がありました。開港50周年ということで、国際コンテナターミナル港としてやっているわけですがけれども、実行委員会の規約が変わりました。それは、今まで委員会の会長というのが御前崎市長であったんですがけれども、これが御前崎港の振興会長とするということでございます。

記念事業のほうでございすけれども、本年度はダイヤモンドプリンセス号が入港禁止となりましたので、コロナの関係でどうなるか分からないんですがけれども、令和3年10月3日、それから第2港が9月26日に50周年記念を西埠頭、1号、2号の岸壁で行うということでございます。それから、帆船日本丸が11月25日に入港するという予定になっております。

いろんな形で冠に全て御前崎港開港50周年記念と入れて事業を行っていくということでございます。

それから、4月17日、市立の図書交流会いこっとの開館式、皆様、大勢出ていただきまして、ありがとうございました。

それから、4月19日、臨時会、本日、ご協力いただきました。

以上で、私のほうは終わらせていただきます。関係議員の皆様、お願いいたします。

**○議長（中野康子君）**

太田議員。

**○13番（太田佳晴君）**

3月24日に2月分の例月現金出納検査を行いました。全て適正に処理されていることを確認いたしました。

以上です。

**○議長（中野康子君）**

そのほか。

村田議員。

**○9番（村田博英君）**

3月26日に榛原総合病院の監査を行いました。一般会計、それから一時借入金、基金、預金等の残高、特に問題ございませんでした。コロナで見舞いに行けないということで、中にあるレストランとコンビニが非常に経営難ということになっておりまして、どこかで補填しなければやめざるを得ないというようなことになっている模様でございます。また報告があるかと思いますが。

以上です。

**○議長（中野康子君）**

ありがとうございました。ほかには。地頭方のほうは。

原口議員。出発式があったと思いますが。4月5日。

**○3番（原口康之君）**

4月5日はデマンド乗合タクシーのじとうがた号の出発式がありました。

以上です。

**○議長（中野康子君）**

ほかにはよろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

**○議長（中野康子君）**

ありがとうございました。

---

**3 議長・関係議員・委員会報告 （2） 議会運営委員会**

**○議長（中野康子君）**

それでは、議会運営委員会のほうで報告をお願いいたします。

鈴木千津子議員。

**○12番（鈴木千津子君）**

今月の議会運営委員会につきましても、副委員長の平口議員をお願いしてありますので、どうぞ皆さん、よろしくお願ひしたいと思います。

簡単ですが、以上です。

**○議長（中野康子君）**

平口議員。

**○5番（平口朋彦君）**

今し方、委員長からもお話がありましたとおり、今月いっぱいに関しましては、私のほうで職務を代行させていただきます。

報告をさせていただきます。

まず、4月5日、月曜日、アからいきます。ア、臨時会については、本日開催をされましたので、省略をいたします。

イ、2月定例会の振り返りに関しまして、議会運営委員で振り返りをしました。主な意見としては、まず、大切な予算議会であったこと。その予算連合審査会において、3日間開催されましたが、一度も質疑をされなかった方がいらっしゃるということは非常にゆゆしき問題だということがありました。ほかにも、もう少し1期生の方にも発言を密にしていきたいということ、あとは議員全体で質問力をもっともっと高めていく必要があるのではないかとといったご意見が出ました。

ウ、合同協議会の議案配付時の進め方についてということで、これは前回ですか、太田議員のほうから私の進め方についてご指摘をいただきました。それについて反省をするとともに、資料1をご覧いただきたいと思います。

今回のフォルダーの中に黒い隅括弧で資料1というのがあります。タイトルは事前審査・審議についてというタイトルですけれども、ペーパーのほうのタイトルは「協議又は調整の場」にお

ける議案への質疑についてとなっています。ご確認くださいでしょうか。

太田議員ご指摘のとおり、議案審査というのは、事前に、便宜上、配付をしている関係であって、決して開会前に審議・審査に入ってしまうというものは、本来的ではないということです。

2「協議等の場」についてというところをご覧いただきたいんですけども、協議等の場で、提出予定の議案の説明を聞くことは、議案の審査協議、または調整の範囲内であるとは理解されるんですが、執行部の説明に対し質疑、討論、討論はしないにしても、質疑を行うことは本会議や委員会における権限にまで立ち入るということに当たりますので、協議等の場の目的を超えるというふうに判断をされております。そのため、前回の私の質疑というか、確認も、これに当たっていたと思われまして。そのことについては、私も十分反省をしているところです。

3の質疑のところ、議題となっている事件について、賛否または修正等の態度決定が可能となるような不明確な点について、説明や意見を正すものであって、質問は一般質問等なんですよ、こういったものを議案配付時の合同協議会の場で、今後、どのように取り扱っていくかについて議会運営委員会で協議をしました。

意見としては、そもそももう確認を促すような発言をしないということも一つのアイデアではないかというふうには意見も出たんですけども、結果として、今までどおり説明が終わって、確認を促すような発言はしますけれども、それが明らかに審査に立ち入っているような場合は、これまでどおり委員長がきっちりと交通整理をして、その発言をしっかり止めて、本会議、または委員会でしてもらうように促すということで決まりましたので、形としては、従前どおりではございますが、私も含め、皆様にもいま一度ご理解をいただいて、本旨にのっとった合同協議会にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

戻りまして、エ、連合審査会の開催日程についてということで、こちらにも隅括弧であります資料2というところに、今までの実績を皆様にも配付をさせていただいております。昨年度の9月の決算議会、また、この間、開催されました2月の予算議会、2回にわたって、今まで2.5日だった連合審査会を、活発な質疑をして審査をしていただくという目的の下、3日間に拡大して、拡充して開催をしました。

決算、予算と1年間分をやってみて、これはとある議員からも申出があったんですが、2.5日のほうがよかったんじゃないかという申出もありましたし、この実績を見ていただいても、3日間にした結果、質問時間、質問人数も減っているところが大分あるということを鑑みまして、市当局との連携ですね、説明員が入場して、説明をするという連携も非常に負担になるということも聞き及んでおります。その結果、議会運営委員会では、再び2.5日に戻してはどうかということで決定をしました。今後、この先また質疑、議論が活発になれば、対応は変わるかもしれませんが、次の、次は9月ですね、9月議会の決算連合審査においては、かつてのように2.5日に戻すこととしましたので、ご承知おきください。

続きまして、オ、予算・決算書の紙媒体での配付について。こちら議員のほうから、予算書・決算書、予算書ですね、今回予算書の事項別明細書が非常に見にくかった。というのは、上の照

明の照り返り、このタブレットの照り返りがあって、非常に見にくかった。決してペーパーレス化に反対するものでもなく、従前のものに戻せというわけではないんですが、予算をしっかりと審議するという意味でも、事項別明細書がしっかり見えたほうがいいと。紙媒体での配付というものも検討してくれと。逆に言うと、この映り込みさえなければタブレットでもいいというお言葉もいただきました。

これについて、議会運営委員会で検討したんですけれども、ペーパーレス化を進めていくに当たっては、可能な限りタブレットのほうがいいだろう。ただし、しっかりと審査をしたいから、見えやすい形をしてくれということで、紙媒体での配付の可能性も排除せずに、例えばフィルムを貼る等で、どういったことで見えやすくするかということは、次回の9月の決算審査までにもう少し調査、研究をさせてほしいということで話がまとまりましたので、9月の決算議会までには何らかの形で対応をしてまいりたいと思いますので、ご承知おきをください。

続きまして、カ、令和3年度10月及び11月のスケジュールについて。皆様ご承知おきのとおり、今年度に関しましては、秋に牧之原市議会の改選が予定をされております。この改選に当たって、スケジュール、非常に密になるんですけれども、そのスケジューリングを改選後、選挙終了後のスケジューリングを議会運営委員会でしました。これは後ほどお話をしますので、この場では説明は省略をいたします。

次、キ、視察研修の振り返りについて。こちらは先ほど話がありました笛吹市への視察研修を議会運営委員会でも振り返りました。議長からもお話があったとおり、本日が視察報告書の提出締切日ですが、議運であった主な意見としては、大井川流域と笛吹市さんとの河川とでは、ちょっとスケール感が違うというお話もありました。また、山梨県という県全体からすればJR東海のリニア新幹線構想については非常に好意的であることから、我々とはやはり立場、温度差の違いがあったなということが意見として出ました。以上です。

次、ク、議会報告会について、資料3をご覧くださいと思います。隅括弧の資料3です。

1から5まであるんですけれども、1、方向性については、もう前回までに報告を済ませておりますが、今年に限っては動画を配信するということで報告をさせていただいております。

その後、2、報告テーマについて決定をしました。三つ、3本立てで動画をつくることにしまして、議長あいさつや、今年度1年間新型コロナウイルスに対して議会が取り組んできたことをまとめたものが1本。また、総務建設、文教厚生各常任委員会の活動報告をそれぞれ1本ずつという形で報告テーマ、動画の仕立てを決定しました。

報告時間に関しては、これも最終的には流動的になると思うんですけれども、おおむね議長あいさつとその他、議会の活動で5分、常任委員会活動報告で各7分程度が妥当ではないかと現在では決定をしております。

配信時期に関しまして。本来であれば、議会報告会というものは予算成立後、もしくは決算認定後の3か月以内にするものとされております。本年は改選となるため、決算以降というものはちょっと考えにくいということで、当初予算成立後の配信を目指し、おおむね7月の初旬を配信

開始の目標とすることを決定しました。

その他。今回の動画に関しまして、一部の議員だけではなく、全議員協力の下、役割分担をしていしましょう。この動画をできるだけ多くの方に見ていただく手段としまして、自治会の行政連絡会、6月11日に開催をされる予定の行政連絡会で周知をしていくということで、決まりました。

今後、詳細についてはまた議運で適宜、協議・検討してまいりますので、その都度ごとに皆様にはご報告を差し上げたいと思います。

この件に関しては以上です。

続きまして、ケ、令和3年度、今年度ですね、今年度の視察研修について。終わりました2月議会で今年度の予算が採決され、可決されました。この予算の議会費の中に視察研修についての予算も組み込まれておりましたので、まずはその予算について改めて報告を受けました。それについて、議会運営委員会でも、このコロナ禍の中での視察研修というものについて、お話をしまして、一つの案が議運でも話されましたので、この件については後ほど、4の協議事項ということで、全員協議会の協議事項で上げておりますので、後ほどに譲ります。

コ、その他としまして、二つあります。事務担当について、あと市議会クールビスについても、その他のほうで説明がありますので、よろしくお願いします。

続きまして、次のページ、4月12日に行われた議会運営委員会なんですけれども、臨時会については閉会しましたので、省略をします。

イ、令和3年度年間スケジュールについてということで、先ほどもはお話ししました資料4に、遅くなりましたが、今年、令和3年度の1年間の全体のスケジュールというものを配付させていただきました。ざっと見ていただくと、先ほどの話にあった10月の予定のところですね、選挙が終わりまして、非常にタイトになりますが、選挙が終わって、任期が終わりですね、任期の終わりが29日までになりますので、任期終了後、11月に入って、新議員研修会が3日間、次の週、翌週から、11月8日からですね、議員協議会ということで、ここで各役職等が決まって、12日には臨時会が開催されるという、非常にタイトなスケジュールですが、ここの部分も含めて、今年1年度の全体の予定というものを皆さんにいま一度ご確認いただければと思います。

議会運営委員会からは以上です。

#### ○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 （3） 総務建設委員会

#### ○議長（中野康子君）

それでは、総務建設委員会のほうから。

平口議員。

#### ○5番（平口朋彦君）

総務建設委員会、この期間では開催をしておりません。明日、お昼、13時30分から総務建設委員会を開催しますので、よろしくお願いします。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (4) 文教厚生委員会

#### ○議長（中野康子君）

次、文教厚生委員会、お願いします。

#### ○6番（藤野 守君）

3月29日、文教厚生委員会常任委員会を開催いたしました。

一応、これは以前にもお話ししたとおり、6月議会で要望書を提出したいと思っております。それに関係して、細部について協議、あるいは議論をいたしたところであります。

以上です。

#### ○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

#### ○議長（中野康子君）

議会広報特別委員会、お願いいたします。

濱崎議員。

#### ○2番（濱崎一輝君）

3月25日に委員会を開催しまして、ページ割とスケジュールについて話し合いをしました。

そして、4月2日には、原稿の編集作業を行いました。

以上です。

#### ○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (6) 議会改革特別委員会

#### ○議長（中野康子君）

議会改革特別委員会、お願いいたします。

大井議員。

#### ○15番（大井俊彦君）

現在、全体会の日程を調整中です。

以上です。

#### ○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (7) 政策立案推進部会

#### ○議長（中野康子君）

政策立案推進部会、お願いいたします。

太田議員。

#### ○13番（太田佳晴君）

ワーキンググループ1では、牧之原市の子供たちの未来を考える条例について、引き続き協議を進めております。

以上です。

#### ○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (8) ICT推進作業部会

#### ○議長（中野康子君）

ICT推進作業部会のほう、お願いいたします。

濱崎議員。

#### ○2番（濱崎一輝君）

今月は、本日ですけれども、広報委員会の終了後、開催する予定となっております。これまで、数か月間の使用状況の感想だとか、皆さんからのご意見を鑑みて、話し合いをしたいと思っております。

それから、皆さんにはアンケートを実施したいと思っておりますので、その件についても話し合いを行います。

以上です。

#### ○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

---

### 4 協議事項 (1) 令和3年度視察研修について

#### ○議長（中野康子君）

それでは、4番の協議事項に移らせていただきます。

まず、一つ目です。令和3年度の視察研修につきまして、一応、予算のほうを事務局のほうから説明をしていただきますので、事務局のほう、よろしくお願いします。

#### ○事務局書記（大塚康裕君）

それでは、行政視察に係ります令和3年度の予算額につきましては、厳しい財政状況を考慮しまして、常任委員会では従来の2泊を1泊としまして、1人当たりの予算も10万円から5万円に減額をしております。

また、議会運営委員会及び広報特別委員会につきましては、今年度は視察は見送っているとい

うことです。

なお、議会改革特別委員会につきましては、昨年度と同様に1人当たり、1泊5万円を予算計上しております。本年は、先ほどから話が出ていますけれども、10月に改選を迎えますので、現体制で視察を行うとするならば、おおむね7月から8月ぐらいをめどに計画をしていただければと思います。

以上です。

**○議長（中野康子君）**

ありがとうございました。

今、説明がありましたけれども、コロナ禍の中で、昨年はほとんど予算を使わずにありましたけれども、今年度は一応常任委員会、それから議会改革特別委員会のほうで予算が取られております。このことにつきまして、一応、議会運営委員会のほうでちょっと話をさせていただきましたので、副議長のほうから研修につきまして、お話をお願いいたしたいと思います。

大井議員。

**○15番（大井俊彦君）**

今、議長の方から話があったとおりですけれども、まず実施するかしないかについてですけれども、まだコロナの状況とか、受入先の状況等々もありますので、まだ未確定の部分が多いわけですけれども、議会運営委員会の中で、案としての意見ですけれども、まずは一つ、これ本当に案の案なんですけれども、過日、豪雨災害に遭われました熊本県人吉市、ここは友好姉妹都市でもありますので、そうした災害の復旧・復興についての視察を行ったかどうかということです。ただし、これは受入先のこともありますので、案の案の状況ですけれども、それとあともう一つは、九州の発展を続けるお茶の関係で、生産量も静岡県を抜いたというような状況の中で、そうした部分の視察も併せて行ってはどうかということで、予算については、先ほど事務局からも話がありましたように、議会改革、それから常任委員会、それぞれ予算を取ってありますけれども、それを合体して、2泊3日で実施したらどうかというような、現時点での案として議会運営委員会で意見が出ました。

以上です。

**○議長（中野康子君）**

今、報告がありましたように、常任委員会のほうでどうしてもこれだけは研究したいために行きたいという声があれば、それはそれで構いませんけれども、でき得るならば、熊本地震から5年、そして昨年の台風の災害から1年、私どもと友姉妹都市をしております熊本県人吉市のほうへ、できれば災害復旧の、議会として、どのような立ち上げをして、市民の皆様とどのような関わりを持ちながら復旧をしていったのかというようなことをぜひお聞きしたいなという思いがありまして、このような協議をさせていただきました。

今までありました夜の交流会は当然無理だとは思いますが、お許しをいただいて、人吉市のほうで受けていただけるようなら復旧の現場と、そして関わった皆様の切実なる声をぜひ聞

いておきたいという声がありますので、そのような形で、一応、議運のほうで協議をさせていただきましたけれども、皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。

太田議員、どうぞ。

**○13番（太田佳晴君）**

今、副議長のほうから、また議長からも報告がありましたけれども、今まで牧之原市が始まって以来、恐らく改選のその年の夏、8月ぐらいたと記憶しておりますけれども、表敬訪問、また研修ということを兼ねてずっと実施をしてきていると思います。そういったことで、今回、1期目の議員の皆さん、また市長もはじめということで、環境が許しての話ですけれども、もし実施できればその方向で進めながら、また状況を見ながらというのは非常に難しい部分がありますけれども、表敬訪問プラス、しっかりとした目的を持った研修ということならば、ぜひともやればいいかなと、そんなふうに思います。

以上です。

**○議長（中野康子君）**

そのほかにご意見いかがでしょうか。

濱崎議員。

**○2番（濱崎一輝君）**

これまでの経緯など、説明いただいて、理解はしておりますけれども、このコロナ禍にあって、市民感情等を考えると、果たしてそれがいいのかというのがなかなか判断がしづらいところではあるんですけれども、私個人的にはちょっとその部分は賛同しかねる部分があるかなというところなので、ご意見としてちょっと述べさせていただきました。

**○議長（中野康子君）**

そのほかにかがでしょうか。

大石議員。

**○14番（大石和央君）**

視察研修に関しては、可能ならばやる必要があるだろうと。まずは、やっぱりそれぞれの常任委員会で議論してもらおうという中で、特にないようでしたらば、全体ということも考えなければならないというふうに思いますが、しかし、全員で、今言われた2泊3日で人吉市ということになると、かなりの困難さがあるのかなというふうに思いますので、その辺りのところはやはり流動的に考えるということで、今ここでどうのということとはちょっと難しいのかなというふうに思います。

以上です。

**○議長（中野康子君）**

そのほかにかがでしょうか。

良知議員。

**○10番（良知義廣君）**

私も非常にちょっと危惧をしているんですけども、要は、向こうで、議会のほうで対応できるかどうか。人吉市の災害というのは昨年、まだそんなに日がたっているわけじゃないので、行った場合に、大勢して行くわけで、相手側に対しても非常に苦勞じゃないですけども、そういった部分でかける、おそれもあるので、本当に今のところは流動的に考えたほうがいいのかなどというふうに思っています。

**○議長（中野康子君）**

そのほかにいかがでしょうか。

私ども4年に一度、行かせていただいていますけれども、1000年に一度ぐらいの大変大きな、昨年は豪雨だということで、有名な国宝級の神社にまで水がついたという現状がございます。

そういった現状で、私たちも東南海地震、東海地震を踏まえて、本当に厳しい現状を抱えているわけでありますので、そういったことで、ぜひ実態を見させていただいて、どういう対応をされたか、その辺を調べてまいりたいという思いが議運の中でございましたので、皆様のご意見を踏まえまして、また議運のほうでしっかりと練らせていただき、早急に皆様のほうにご報告していきたいというふうに思いますが、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**○議長（中野康子君）**

それでは、この件はそうにさせていただきます。議運のほうでまたしっかりと協議させていただきます。協力いただけることはぜひ協力していただきたいというふうに思います。

---

**5 その他 （1） 令和3年度事務局事務担当について**

**○議長（中野康子君）**

そのほか、令和3年度の事務の担当につきまして、資料5がございますけれども、事務局のほうでお願いをいたします。

事務局次長。

**○事務局次長（本杉裕之君）**

それでは、私のほうからですけども、資料5をご覧ください。よろしいでしょうか。

令和3年度の議会事務局事務分担という形でお配りしてあります。昨年との違いは、原口みよ子次長に替わりまして、私が入っているということと、あとCグループに関しまして、原口みよ子次長がやっていたところを、本杉周平君にやっていただくような形となっております。入れ替わっているところは次長の私が入れ替わっている、あとすみません、文教のほうで、主担当が森田から本杉周平に替わっています。

変更点は以上となります。

---

**5 その他 （2） 市議会クールビスについて**

**○事務局次長（本杉裕之君）**

続きまして、2点目ですけれども、市議会クールビズについてということで、今年度も牧之原市のほうで実施予定が5月1日から10月31日に実施する予定となっていますので、市議会のほうも同じようにクールビズを5月1日から10月31日で実施をする予定としております。

---

5 その他 (3) オリンピック・パラリンピック開催による2021年の祝日移動について

○事務局次長（本杉裕之君）

最後に、3点目ですけれども、オリンピック・パラリンピック開催による2021年の祝日移動についてということで、皆さんのほうには事前にこちらの両面のチラシのほうを配付させていただきました。それで、オリンピックの開催に当たりまして、7月19日が7月22日に海の日が変更してしまったり、10月11日のスポーツの日が7月23日に変更になっています。8月11日の山の日が8月8日になっているというような形で、休日が今年度変わっております。ただ、スマホのスケジュールでありますとか、あとこのLINEワークスのカレンダー、こちらのほうはもう変更がかかっていますので、あと今日、先ほど示させてもらいました令和3年度の年間スケジュール、こちらのほうも、もうこの祝日の移動を反映したものになっております。ですので、皆さんが使われている議員手帳でありますとか、よくこうやって私が使っている県民手帳とか、こういった手帳系が変わっていませんので、デジタルのほうのスケジュールと手帳のほうの休日の違いがありますので、そこだけお気をつけください。

私のほうから以上になります。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

事務局からの説明の中で何かお聞きしたいことがあったら、どうぞ。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

よろしいですか。

○事務局長（原口 亨君）

すみません、私のほうから1点だけ。

本日ですが、皆様の状差しの中に令和3年度の牧之原市戦没者追悼式のご案内、封筒を入れさせていただきました。5月18日に実施をされます。その中に出欠の返事をしていただくはがきが入っておりますが、事務局のほうで全部まとめたいと思いますので、事務局のほうに出欠表を用意してありますので、今日もし5月18日の予定等分かって、出席、欠席、どちらか分かるようでしたら書いていっていただければと思います。

締切が5月10日になっておりますので、それまで結構ですので、事務局に寄ったときに欠出のほうに印をつけていただければ、中に入っているはがきは提出をしていただかなくて結構ですので、よろしくお願いしたいと思います。

**○議長（中野康子君）**

ありがとうございました。皆様のほうに入っているそうでございますので、出席できる方は事務局のほうへ出席表が出されているということでございますので、記入をお願いしたいと思います。

それでは本日の全員協議会を終了させていただきます。皆さんご苦労さまでした。ありがとうございました。

〔午前 10時51分 閉会〕